



## 決め手は「音」でした

R「安倍川」駅から10分ほど、小雨のなかを歩いて長田（おさだ）西中学校にたどり着いた。「安倍川」といえば「安倍川餅」が有名だが、同校の地域は古くから「丸子（まりこ）の里」と呼ばれてきた。東海道五十三次にも登場する、古き良き宿場町なのである。旅人を温かく迎えるあたたかなホスピタリティにあふれた「丸子の里」に、ルクセンブルグからやってきたBSCは、やはり暖かく迎えられた。

しかしそれにはきちんとした音楽的理由があったのである。

「なんといっても決め手は『音』でした。世界にはさまざまな楽器ブランドがありますが、できるだけ私はセクションでブランドを統一することを生徒たちにはすすめているんですね…」

そう語るのは、同校を指導する中山先生。東京・葛飾生まれで、東京音楽大学で声楽を鈴木寛一氏、ピアノを村上隆氏に師事、汐澤安彦氏の吹奏楽、小林研一郎氏の指揮法の講義を聴講したというヴェテランなのである。ちなみに長田西中学校は先生のご指導よろしきを得て、大変に合唱が盛んな学校としても知られている。今年も吹奏楽コンクール静岡県中部大会で見事に一位を獲得した。そんな先生がこだわるのが、パート（セクション）ごとの楽器ブランドの統一なのである。

「パートごとにブランドを統一することによって、それぞれのパートの個性が際立ち、それをバンドとしてプ



「12番街のウグ」にうかれたかのように嵐が晴れて、虹がかった！

# Best Sound Club

## へようこそ

第4回

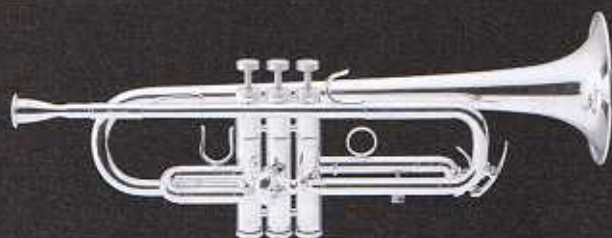
### 何よりもやさしくて かっこいい表現力が 気に入ったんです

ここは静岡県中部の安倍川そばにある「長田西中学校」。トランペットセクションのほとんどのメンバーがBSC（プラス・サウンド・クリエイション）の楽器で統一している、と聞いてさっそく馳せ参じた次第。東海道五十三次にも登場する由緒ある「丸子の里」でのBSCの奮闘振りをご紹介します！

## BSC

Brass Sound Creation  
from Luxembourg

TR-501G	"WM"	¥703,500 (税込)	＜ケース付＞ 仕上げ：シロク2年塗メッキ
TR-303S	"シンフォニー"	¥417,900 (税込)	＜ケース付＞ 仕上げ：黒メッキ
TR-206S	"オールラウンド"	¥302,400 (税込)	＜ケース付＞ 仕上げ：黒メッキ
TR-106S	"ニューヨーク"	¥200,400 (税込)	＜ケース付＞ 仕上げ：黒メッキ
TR-105S	"ミレニアム"	¥207,900 (税込)	＜ケース付＞ 仕上げ：黒メッキ
TR-C01S	"アルマンド" <C管>	¥448,350 (税込)	＜ケース付＞ 仕上げ：黒メッキ

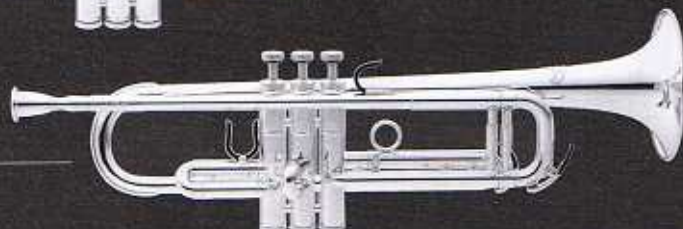


**TR-303S**  
"シンフォニー"

※マウスピースは付属しておりません

**TR-C01S**

"アルマンド" <C管>





レンドすることが出来る。それが結果的には全体のサウンドを練り上げることにつながると思うんです」

ただ、それを実現するにはかなりの歳月と資金がかかりますけどね、と苦笑する中山先生。毎年毎年、さまざまな楽器を買い足していって(と同時に保護者のみなさんにも理解を得て)ちょっとづつ実現させていくわけだ。

今回取材の対象となったBSCは、たまたま外部指導者として同校を定期的に訪問していた講師によって紹介された。中学生くらいの演奏能力では楽器のブランドによる違いまではわからないのでは?と聞くと、「確かにすぐには違いなど出ません。しかし一年から一年半経過するうちに、すぐれた楽器をもっている生徒



明るくてかっこいい長田西トランペットセクションのみなさん

はやはり音楽的成熟度がより深くなる、というのが経験的にわかってきたので…」

トランペットをグレードアップしたくて指導に来てもらった講師に相談したところ、まったく知らないブランドBSCを紹介された。



特に3年生が元氣一杯。写真でBSC「ニューヨーク」を手に入れている坂田さんは部活動こそ引退しているが、すでに一般の市民バンド「テイクス」にBSCとともに参加して、音楽を楽しんでいる、という

アンサンブルコンテストに向けて「12番街のラグ」を練習する全管八重奏チーム。トランペットの2年生は全員がBSCだ。やさしくたくましい響きが中学生離れている

「本当は別のブランドを考えていたんですが『(数を)そろえるのが今は難しい』といわれてしまったので…」

何も予備知識のない状態でひとまずBSC「ニューヨーク」をそろえて、生徒たちと一緒に試してみたのだそう。

「音がいい、というのはすぐわかりました。しかも、想定していた通りの高品質な音色でした」

判断は早かった。価格的にも想定範囲内で、卒業してからもずっと音楽を続けたい、という生徒たちの要望にもびったり。中学時代から、信頼のおけるマイ楽器で音楽を楽しむメリットを、先生は熟知しているのだ。

「やさしくて、かっこいいから好きです」

みんな異口同音に「トランペットもBSCも大好き!」と語ってくれた。「明るくて楽しい仲間と一緒に、これからもがんばっていききたいと思います」

パートを率いるリーダーの稲村さんは、初めてのマイ楽器でもあるBSCを手に入れた、明るく取材班に話してくれた。そう、その意気です。アンサンブルコンテストに向けて「12番街のラグ」を一所懸命に練習する彼ら。その健闘を祝福するかのように窓の外の雨が一瞬おさまり、虹がかった。

2012



バンド全体の練習風景。中山先生は基礎練習の時には指揮台にたず、じっと生徒たちの練習ぶりを見つめている。中央の生徒さんは、テンポをメトロノームにまかせ、ピッチや音質、タイミングなど、気になる箇所を折に触れてチェックしている

## ヨーロッパのハンドメイドが培った完成度

ヨーロッパ発。オーケストラでもアンサンブルやソロでも、卓越した表現力と吹きやすさで、いま最も熱い視線を浴びるトランペット、それが「BSC」



あるメーカーの楽器を30年以上もの間使い続けてきたが、これを上回る楽器にはもう廻り合わないだろうと思っていた。ところが、ところが、ホント生きていて良かった!

BSCは「吹きやすい」とか「音程が良い」とかの次元ではない。とにかく「音楽しやすい」のだ。

特に「音色が素晴らしい」。「柔らかくて力強く、ヨーロッパの品位が感じられる。」

百聞は一見に如かず。試してみることを是非お勧めしたい。

NHK交響楽団首席奏者 関山 幸弘



日本総輸入元

株式会社 **セレクト インターナショナル**

〒272-0836 市川市北園分 1-8-2

TEL: 047-374-0792 FAX: 047-372-2704

e-mail: info@select-inter.com

URL: http://www.select-inter.com